



光る！！



【学校 HP】

波多津小学校 第6号

2026年8月25日

文責：渡邊 夏美

2学期も「笑顔・笑声・笑心」で挑戦しましょう(*^-^*)

暑く、雨がほとんど降らない夏休みが終わりました。あっという間の38日間だったでしょうか。それとも、長く感じた38日間だったでしょうか。夏休み中に児童クラブに来ていた子どもたちに話を聞くと、「もう飽きたから、学校に来たい！」とのこと。友達と遊んだり、話したりするのが待ち遠しいようでした。外遊びもなかなかできない酷暑は、子どもたちにもつらい夏だったかもしれません。保護者の皆様、お子様の健康管理たいへんだったでしょう。

さあ、今日から2学期のスタートです。失敗を恐れず、合言葉「笑顔・笑声・笑心で挑戦！」することを忘れず、たくさんの「光る」姿を見せてくれることを期待しています。保護者の皆様、今学期もご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



8月4日「波多津町を花いっぱいになろう」児童クラブの子どもたちがコスモスの種をまきました。

夏休みにチャレンジしたことをこれからに生かして

1学期の終業式には、夏休みだからこそ継続できる何かにチャレンジをしてほしいという話をしました。例えば、地域の行事に積極的に参加する、家の仕事を責任もって分担する、自由研究に取り組む、読書を毎日するなどです。どんなことにチャレンジできたか、子どもたちに尋ねるのが楽しみです。

読書と言えば、今年の夏は「ガリレオ」シリーズ等で有名な作家の東野圭吾さんが亡くなられて、寂しい思いをされた方も多いのではないのでしょうか。東野さんは、ある賞の授賞式で以下のように語られました。「明日からの人生の中で、一番若いのは今日。今日が一番若いんだから、今日が一番、これからの人生の中で可能性がある。」前向きに生きる力を与えてくれる言葉です。未来がたくさんある子どもたちには、まだピンとこない言葉かもしれませんが、読書をする、このような豊かな言葉に出会えます。図書室では、〇〇先生が子どもたちをいつもあたたかく迎えてくださいます。2学期も、たくさんの本と出会えますように!!

～平和の尊さ・命の大切さを改めて考えた夏でした～

今年の夏は悲しい事故や天災が続き、多くの命が失われました。被災された方々の悲しみや苦しみは計り知れません。夏休み明けに全員元気に登校できることがどれほど幸せなことか、改めて考えました。

そして、戦後81年目の夏が終わろうとしています。今年も、6日に広島で、9日に長崎で「平和祈念式典」が開かれました。広島では小学6年生が『平和の誓い』を発表しました。その中の一節を紹介します。

『平和とは誰かから与えられるものではなく、世界中の人々でつくり上げるものです。子どもである私たちも、その一員として平和への一歩を踏み出します。かけがえのない「大切なもの」を、確かな希望を、未来へ届けるために』

戦争の悲惨さや平和の尊さを、年齢に応じて学ぶ機会が絶対に必要です。波多津小学校でも、9月28日に高校生平和大使をお招きして「平和集会」を行います。みんなの学びを共有し、平和の尊さ、命の大切さを実感する機会とします。保護者の皆様、ご家庭でもぜひ、機会をとらえてお話しください。

チーム波多津小に新しい仲間が増えました！

小川涼香先生が産休に入られましたので、2学期から4年1組の担任として〇〇先生が赴任されました。松浦市今福町在住です。とても穏やかな話し方をされる、笑顔の優しい先生です。子どもたちと会うのを楽しみにされていました。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

経験豊富な先生ですので、〇〇先生から学ぶことが多いと思います。4年生だけでなく、波多津小学校の子どもたちみんなと仲良くなってほしいと思います。どんどんコミュニケーションをとるためにも、名前札を忘れずに着用して、早く名前を覚えてもらいたいですね(*^-^*)

感謝

8月18日は、育友会親子除草作業の予定でしたが、酷暑が続いたこともあり、雑草があまり伸びておらず中止にしました。育友会役員様には校庭斜面を除草していただき、心より感謝いたします。